

平成19年度

新宿区多文化共生実態調査

概要版

平成20年3月

新宿区

はじめに

新宿区には、30万人を超える区民が暮らしており、その10人に1人は外国人です。

地域の日本人と外国人の間では、言葉や生活習慣の違いによるコミュニケーション不足から、誤解やトラブルが生じる場合もありますが、都市の魅力は多様性をいかに尊重するかにあります。

平成15年度に実施した実態調査を踏まえ、新宿区では、外国人が多く住み暮らすことを区の特性として積極的にとらえ、プラスメッセージを発信できるよう多文化共生のまちづくりを推進しています。

今回の実態調査では、地域の実情や区民ニーズを的確に把握するとともに、前回との比較やこれまでの区の実践について、日本人と外国人の双方からお聴きいたしました。

ご回答いただきました調査結果については、多文化共生のまちづくりをさらに推進するための貴重な基礎資料として活用してまいります。

また、この調査報告書を多くの皆さまに参考としてご活用いただければ幸いです。

最後に、この調査にご協力をいただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

平成20年3月

新宿区長 中山 弘子

目 次

第1部 調査実施の概要	1
第2部 調査結果の分析／アンケート調査編	10
第1章 外国人区民調査	10
I 調査回答者の属性	10
II 調査結果	21
1. 新宿区の住みやすさ	21
2. ことば（日本語学習）	24
3. 日常生活	27
4. 地域での交流	30
5. 情報提供・相談体制	37
6. 災害時・緊急時の対応	39
7. 多文化共生のまちづくり	42
8. 自由回答（抜粋）	48
第2章 日本人区民調査	52
I 調査回答者の属性	52
II 調査結果	56
1. 暮らしの実感	56
2. 日常生活	61
3. 災害時・緊急時の協力	64
4. 偏見・差別	66
5. 多文化共生のまちづくり	69
6. 自由回答（抜粋）	77
第3部 調査結果の分析／インタビュー調査編	82
第1章 外国人区民調査	82
第2章 日本人区民調査	84
第3章 団体調査	86
第4部 考察と提言	87

第1部 調査実施の概要

1. 調査の目的

新宿区には多くの外国人区民が生活しており、人口の約1割となっている。区では外国人が多いことを区の特長として積極的にとらえ、国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解しあい、共に生きていく多文化共生のまちづくりを推進している。

本調査は、外国人と日本人が同じ地域で生活することについての現状を把握し、これからの新宿区の行政サービスに役立てるための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査実施

- 【調査主体】 新宿区
【調査支援】 法政大学 キャリアデザイン学部 教授 笹川孝一
財団法人 新宿文化・国際交流財団
【調査委託】 株式会社 サーベイリサーチセンター

3. アンケート調査実施の概要

アンケート調査は、『外国人区民調査』及び『日本人区民調査』の2種類を実施した。

(1) 調査概要

	項目	内容	
郵送調査	調査地域	区内全域	
	調査期間	平成19年9月28日（金）～10月19日（金）	
	調査対象	外国人区民調査	区内に在住する20歳以上の男女個人 5,000人
		日本人区民調査	区内に在住する20歳以上の男女個人 2,000人
	抽出法	外国人区民調査	外国人登録原票から単純無作為抽出
		日本人区民調査	住民基本台帳から単純無作為抽出
	調査方法	◎郵送法（郵送配布－郵送回収）	
		外国人区民調査	抽出した対象者の国籍に合わせて、日本語と言語別調査票を組み合わせて（内訳は次ページ参照）、封筒にて郵送し、同封した返信用封筒にて回収 ◇調査票の発送約1週間後に、「お礼状兼ご協力のお礼ハガキ」を全対象者に配付し、調査協力へのお礼と回収率の向上を図った
		日本人区民調査	調査票を封筒にて郵送し、同封した返信用封筒にて回収 ◇調査票の発送約1週間後に、「お礼状兼ご協力のお礼ハガキ」を全対象者に配付し、調査協力へのお礼と回収率の向上を図った

(2) 言語別調査票発送の内訳 (外国人区民調査)

言語	発送数 (部)
日本語ルビ付	5,000
韓国語・朝鮮語	2,193
中国語	1,551
英語	793
フランス語	161
ミャンマー語	156
タイ語	107
インドネシア語	39
小計	5,000

(3) 調査項目

外国人区民調査	
◆ 調査回答者の属性	
(1) 性別	(7) 日本での滞在期間
(2) 年齢	(8) 結婚の有無
(3) 国籍	(9) 同居人
(4) 最も得意とする言語	(10) 在留資格
(5) 通勤・通学先	(11) 居住地域
(6) 仕事	
1. 新宿区の住みやすさ	
(1) 来日目的	(3) 定住意向
(2) 新宿区の住みやすさ	(4) 生活で困っていることや不満なこと
2. ことば (日本語学習)	
(1) 日本語に関して困ること	(3) 日本語教室を利用しやすくするために重要だと思うこと
(2) 日本語の学習意向	
3. 日常生活	
(1) 日本人とのトラブル経験	(2) 日本人から外国人に対する偏見や差別
4. 地域での交流	
(1) 近所の日本人とのつき合いの程度	(4) 地域の中で行ってみたい活動
(2) 最も多くつき合う人	(5) 地域社会の一員として日本人に望むこと
(3) 情報交換などができる仲間やグループ	
5. 情報提供・相談体制	
(1) 新宿区で生活していく上で必要な情報	(2) 日常生活で困った時の相談相手
6. 災害時・緊急時の対応	
(1) 災害や事故等の不安や心配	(2) 新宿区に望む災害対策
7. 多文化共生のまちづくり	
(1) しんじゅく多文化共生プラザについて	(3) 多文化共生のまちづくり推進のために自分ができると思うこと
(2) 多文化共生のまちづくり推進のために新宿区が力を入れるべきこと	(4) 新宿区への期待
8. 自由回答	

日本人区民調査

◆ 調査回答者の属性

(1) 性別	(5) 新宿区の住みやすさ
(2) 年齢	(6) 定住意向
(3) 居住地域	(7) 同居人
(4) 居住年数	

1. 暮らしの実感

(1) 外国人増加の実感
(2) 近所に外国人が住むことについての考え
(3) 外国人が増加すると良いと思われること
(4) 外国人が増加すると心配に思うこと
(5) 外国人が生活上困っていたり不満があると思われること

2. 日常生活

(1) 近所の外国人との付き合いの程度
(2) 外国人と生活していく上で大切なこと
(3) 外国人とのトラブル経験

3. 災害時・緊急時の協力

(1) 災害時に外国人と避難する上で心配なこと
(2) 新宿区に望む災害対策

4. 偏見・差別

(1) 日本人から外国人に対する偏見や差別

5. 多文化共生のまちづくり

(1) 多文化共生社会という言葉について
(2) 多文化共生のまちづくり推進のために外国人に望むこと
(3) 多文化共生のまちづくり推進のために自分ができると思うこと
(4) しんじゅく多文化共生プラザについて
(5) 多文化共生のまちづくり推進のために新宿区が力を入れるべきこと
(6) 新宿区への期待

6. 自由回答

(4) 居住地域区分と地域別住民基本台帳人口及び外国人登録人口 (2007年9月14日現在)

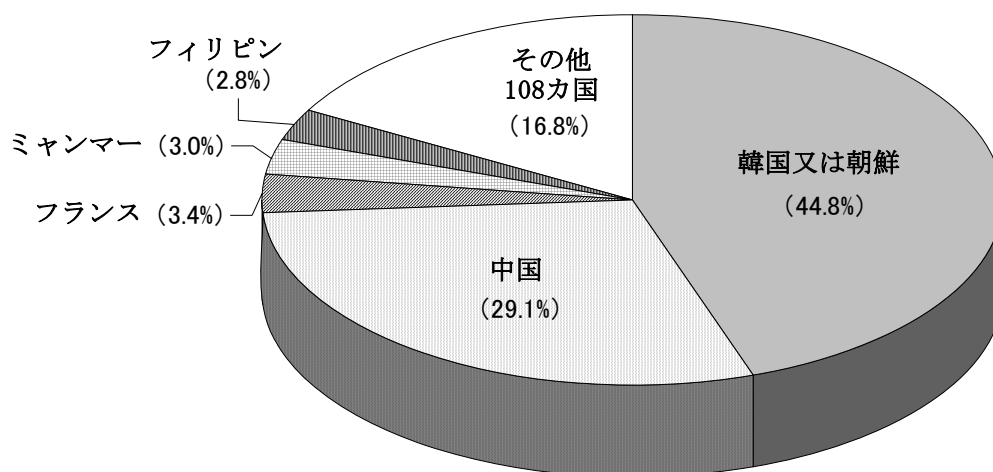
居住地域の集計にあたっては、地域的特性を把握するために、本庁および各出張所管轄に基づき新宿区内を10地域に分けた。

◆ 居住地域内該当町丁目

地域	該当町丁目	A	B	C	D (=B/C*100)
		住民基本 台帳人口 (人)	外国人 登録人口 (人)	総人口 (人)	外国人登録 人口率 (%)
	全体	277,108	31,051	308,159	10.1
四谷	四谷一丁目～四丁目、本塩町、三栄町、坂町、若葉一丁目～三丁目、須賀町、左門町、信濃町、南元町、荒木町、舟町、愛住町、大京町、霞ヶ丘町、内藤町、片町、新宿一丁目～二丁目、新宿三丁目〔1番～14番、15番(一部)、16番、17番(一部)、30番、31番(一部)、32番〕、新宿四丁目、新宿五丁目〔1番～12番、13番(一部)、14番(一部)、15番～17番、18番(一部)〕、歌舞伎町一丁目〔1番(一部)〕、住吉町〔2番(一部)、8番(一部)〕	32,168	2,817	34,985	8.1
笹荷町	市谷田町一丁目～三丁目、市谷本村町、市谷砂土原町一丁目～三丁目、市谷左内町、市谷加賀町一丁目～二丁目、市谷甲良町、市谷船河原町、市谷長延寺町、市谷鷹匠町、市谷山伏町、市谷八幡町、神楽坂一丁目～六丁目、細工町、二十騎町、揚場町、津久戸町、東五軒町、西五軒町〔1番(一部)、2番～13番〕、赤城元町、南榎町、袋町、弘方町、北町、中町、南町、納戸町、南山伏町、北山伏町、白銀町、下宮比町、矢来町、若宮町、岩戸町、笹荷町、横寺町、筑土八幡町、新小川町、神楽河岸	30,791	1,842	32,633	5.6
榎町	市谷薬王寺町、市谷柳町、市谷仲之町、赤城下町、天神町、榎町、東榎町、早稲田町、若松町〔5番(一部)、6番(一部)〕、早稲田南町、馬場下町、原町一丁目～三丁目、喜久井町、築地町、弁天町、中里町、山吹町、改代町、水道町、早稲田鶴巻町、西早稲田二丁目〔1番(一部)〕、西五軒町〔1番(一部)〕、河田町〔2番(一部)〕	28,077	1,761	29,838	5.9
若松町	住吉町〔1番、2番(一部)、3番～7番、8番(一部)、9番～15番)〕、市谷台町、富久町、河田町〔2番(一部)を除く〕、若松町〔1番～4番、5番(一部)、6番(一部)、7番～38番)〕、戸山一丁目～二丁目、戸山三丁目〔1番～17番、19番、20番)〕、余丁町〔8番(一部)を除く〕、西早稲田二丁目〔2番)〕	28,654	2,164	30,818	7.0
大久保	新宿五丁目〔13番(一部)、14番(一部)、18番(一部)〕、新宿六丁目～七丁目、歌舞伎町二丁目、大久保一丁目～三丁目、戸山三丁目〔18番)〕、西新宿七丁目〔2番(一部)、3番～6番)〕、百人町一丁目～二丁目、三丁目〔29番(一部)を除く〕、余丁町〔8番(一部)〕	33,487	10,246	43,733	23.4
戸塚	戸塚町一丁目、戸山三丁目〔21番)〕、下落合一丁目〔1番(一部)、3番(一部)、7番(一部)、12番、13番、16番(一部)、17番)〕、西早稲田一丁目、西早稲田二丁目〔1番(一部)、3番～21番)〕、西早稲田三丁目、高田馬場一丁目～二丁目、高田馬場二丁目〔1番～7番、8番(一部)、9番～15番、16番(一部)、18番(一部)、19番～46番)〕、高田馬場四丁目、百人町三丁目〔29番(一部)〕、百人町四丁目	31,528	3,370	34,898	9.7
落合第一	上落合一丁目、上落合二丁目〔1番～3番(一部)、4番～14番、16番(一部)〕、下落合一丁目〔1番(一部)、2番、3番(一部)、4番～6番、7番(一部)、8番～11番、14番、15番、16番(一部)〕、下落合二丁目～四丁目、中落合一丁目〔1番～15番、17番(一部)、20番、21番)〕、中落合二丁目、中落合三丁目〔1番～13番、14番(一部)、15番、18番(一部)、19番(一部)〕、中落合四丁目〔1番(一部)〕、中井二丁目〔1番～3番)〕、高田馬場三丁目〔8番(一部)、16番(一部)、17番、18番(一部)〕	28,481	1,794	30,275	5.9
落合第二	上落合二丁目〔3番(一部)、15番、16番(一部)、17～29番)〕、上落合三丁目、西落合一丁目～四丁目、中落合一丁目〔16番、17番(一部)、18番、19番)〕、中落合三丁目〔14番(一部)、16番～18番(一部)、19番(一部)、20番～29番)〕、中落合四丁目〔1番(一部)、2番～32番)〕、中井一丁目、中井二丁目〔4番～30番)〕	28,058	1,427	29,485	4.8
柏木	西新宿六丁目〔2番～4番、5番(一部)、6番(一部)、7番～9番、10番(一部)〕、西新宿七丁目〔1番、2番(一部)、7番～23番)〕、西新宿八丁目、北新宿一丁目～四丁目	23,062	4,499	27,561	16.3
角筈・区役所	西新宿一丁目～五丁目、西新宿六丁目〔1番、5番(一部)、6番(一部)、10番(一部)、11番～26番)〕、歌舞伎町一丁目〔1番(一部)、2番～30番)〕、新宿三丁目〔15番(一部)、17番(一部)、18番～29番、31番(一部)、33番～38番)〕	12,802	1,131	13,933	8.1

(5) 国籍別の外国人登録人口 (2007年9月14日現在)

順位	国名	外国人登録人口
1	韓国又は朝鮮	13,910
2	中国	9,034
3	フランス	1,052
4	ミャンマー	947
5	フィリピン	876
6	米国	729
7	タイ	685
8	英国	414
9	ネパール	386
10	マレーシア	287
11	インドネシア	260
12	インド	236
13	オーストラリア	232
14	カナダ	218
15	バングラデシュ	178
16	ブラジル	163
17	ベトナム	144
18	ドイツ	136
19	イタリア	79
20	ロシア	79
:	:	:
:	:	:
:	:	:
合計	113カ国	31,051



(6) 回収結果

◆全体

	標本数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
外国人区民調査	5,000	907	18.1
日本人区民調査	2,000	859	43.0

※あて先不明による無効の件数

	無効数	無効率 (%)
外国人区民調査	526	10.5
日本人区民調査	14	0.7
合計	540	7.7

◆外国人区民調査

	母集団	構成比 (%)	標本数	有効回収数	回収率 (%)
全体	27,300	100.0	5,000	907	18.1
四谷	2,559	9.4	469	85	18.1
箆笥町	1,379	5.1	253	71	28.1
榎町	1,356	5.0	248	51	20.6
若松町	1,753	6.4	321	90	28.0
大久保	9,264	33.9	1,697	245	14.4
戸塚	2,946	10.8	539	119	22.1
落合第一	1,592	5.8	291	56	19.2
落合第二	1,284	4.7	235	41	17.4
柏木	4,110	15.1	753	103	13.7
角筈・区役所	1,057	3.9	194	46	23.7

※母集団は、2007年9月14日現在の20歳以上の外国人登録人口である。

◆日本人区民調査

	母集団	構成比 (%)	標本数	有効回収数	回収率 (%)
全体	243,192	100.0	2,000	859	43.0
四谷	28,767	11.8	236	76	32.2
箆笥町	26,547	10.9	218	100	45.9
榎町	24,679	10.1	203	81	39.9
若松町	25,192	10.4	208	94	45.2
大久保	28,987	11.9	238	108	45.4
戸塚	27,860	11.5	230	92	40.0
落合第一	24,547	10.1	202	96	47.5
落合第二	24,344	10.0	200	86	43.0
柏木	20,528	8.4	169	63	37.3
角筈・区役所	11,741	4.8	96	31	32.3
(無回答)				32	

※母集団は、2007年9月14日現在の20歳以上の住民基本台帳人口である。

(7) アンケート調査結果の見方

- ①集計は、小数点以下第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%ちようどにならない場合がある。
- ②回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- ③基数となるべき実数は、(n)として表示した。その比率は、基数を100%として算出した。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ⑤図中の比率の小さい項目については、省略している場合がある。

4. インタビュー調査実施の概要

アンケート調査だけでは把握しきれない区民の生活の課題や意識・実態、あるいは団体活動で把握している課題や寄せられる相談等を把握するために、下記の内容でインタビュー調査を実施した。

(1) 調査概要

	項目	内容		
インタビュー調査	調査地域	区内全域		
	調査期間	平成 19 年 8 月 28 日（火）～平成 20 年 1 月 31 日（木）		
	調査対象	外国人区民調査	区内に在住する外国人 40 人	
		日本人区民調査	区内に在住する日本人 40 人	
		団体調査	多文化共生に関して活動している団体や機関 20 団体	
	選定方法	外国人区民調査	本庁および各出張所管轄に基づき新宿区内を 10 地域に分け、人口分布、国籍、生活状況等を勘案して選定	
		日本人区民調査	本庁および各出張所管轄に基づき新宿区内を 10 地域に分け、人口分布、生活状況等を勘案して選定	
		団体調査	都区内に住所があり、多文化共生に関して活動している団体を幅広く選定	

(2) 調査方法

選定した方一人ひとり（各団体）に、本調査の趣旨を説明し、調査への協力を依頼した。

(3) 調査内容

基本的な項目（年齢、職業、居住地域、滞在年数、家族構成等）に加え、調査対象の選定時、あるいは調査協力依頼時に把握することのできた対象者の属性や立場に合わせて、調査内容を変化させてたずねている（例 「地域住民用」、「経営者用」、「子育て中の方用」、「学生用」、「町会関係者用」、「団体用」等）。

(4) 外国人区民調査及び日本人区民調査の対象者の分布

◆外国人区民調査及び日本人区民調査

	外国人区民調査	日本人区民調査
全体	40	40
四谷	4	4
箆笥町	4	5
榎町	5	3
若松町	4	3
大久保	10	10
戸塚	4	5
落合第一	1	2
落合第二	1	2
柏木	6	3
角筈・区役所	1	3

(5) インタビュー調査結果の見方

- ①掲載は、たくさん話していただいた内容を、文意の損なわないよう要約したものである。
- ②掲載にあたっては、個人が特定できないよう配慮している。
- ③外国人区民調査及び日本人区民調査については、特別区出張所別に掲載している。また、団体調査については順不同で掲載している。